

令和5年度シラバス (教科・科目: 家庭: 子どもの発達と保育)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択	年次
午前部	2	選択	3, 4年次

教科書	学習書・他教材
『子どもの発達と保育 (教育図書)』	

学習目標
子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

学習計画	
学習項目	学習内容
子どもの発達の特徴	発達概念や乳幼児期の子どもの発達の特徴について理解する。乳幼児期は、人が生涯にわたる生きる力の基礎を培う時期であり、子どもが主体的に環境にかかわることが重要であることを理解する。社会的背景とかがわらせて発達観・児童観の変遷の概要について理解する。
子どもの発達過程	子どもの身体発育、運動機能、認知機能、情緒、人間関係などの発達には、順序性や連続性があることを理解する。人間関係の発達には、乳幼児における「愛着」が重要であることを理解する。
子どもの生活	乳幼児の生活の特徴と適切な養護のあり方、生活習慣の形成、生活環境の整備、健康管理と事故防止などについて取り扱い、乳幼児の健全な発育・発達を促す生活について理解する。
子どもの保育	子どもの発達をうながすための保育の必要性和意義を理解する。保育の目標に応じた基本的な保育技術を身につける。
子どもの福祉と子育て支援	児童福祉の理念や関係法規と制度について理解する。近年の子育て支援の考え方と施策について理解する。

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
乳幼児の発達の特徴や発達過程、保育について興味や関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	乳幼児の発達の特徴や発達過程、保育について考え、自分の意見をまとめ、発表することができる。	保育の目標に応じた基本的な保育技術を身につけている。	乳幼児の発達の特徴や発達過程、保育について理解している。
成績は、定期考査と実習で作成した作品や提出物の状況・授業態度などを総合的に評価する。			

授業の進め方、課題・提出物など
教科書中心の授業と折り紙やおもちゃ製作等の実習を併せて進めていきます。

担当者からのメッセージ
家庭基礎を履修した後に履修することができます。授業に出席し、実習作品を完成させてください。実習費が500円かかります。